



よんきゅう絆プロジェクトとは

街では祇園祭の賑わいが見られる頃となりました。日頃より、保護者の皆様や地域の皆様には学校教育にご理解とご協力をいただきまして、誠に有難うございます。

さて、ご存知のこととは存じますが、中京区の西にある小学校では、居住地によって通う中学校が異なり、2中学校ないしは3中学校に分かれて進学しています。そのため、中学校との小中一貫教育の取組も進学関係のある小学校と中学校とでおこなってまいりました。

その小中一貫教育を進めるにあたり、複数校とおこなっている4つの中学校区が同じ取組をすれば、もっと協力的に取組を進めていけるのではないかと考え、昨年度より4つの中学校(北野・西ノ京・朱雀・中京)とその中学校へ進学する9つの小学校が1つになり、「よんきゅう絆プロジェクト」を立ち上げました。

現在、2年目を迎え、義務教育9年間を通してどんな子どもに育てていくのか、共通の小中一貫教育目標を掲げ、具体的な取組を計画し、実践を始めているところです。(裏面の教育構想図をご覧ください)

子どもたちの健やかな成長をめざし、学校教育を進めてまいりますので、今後ともお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

京都市立大將軍小学校 校長 西村 彰高

よんきゅう絆プロジェクト……13校で、こんな取組をしています。

教務部会 「ともにできること」

教務部会では、小学校と中学校13校で、どんなことがともに行えるかを検討しています。

まず、8月22日に13校合同で小中一貫教育について研修会を行うことを計画しています。場所は立命館大学朱雀キャンパスで総勢300名規模の研修会を行います。そして、各中学校のブロックでも研修を深めます。それぞれのブロックの小中で何が取り組めるかを考えます。

また、例年小学校6年生の中学校体験もよんきゅう合同で行っていますが、これも教務部会を中心に取り組んでいきます。



学力向上部会 「よりよい学びを」

学力向上部会では、共通テーマである「主体的、対話的で深い学びをめざした授業づくり」を目指して取組を進めています。授業をする上で、学習指導案の中にどのような記述していくのか、授業のテーマとのつながりをどのように記述するかなど、よりよい授業づくりに向けて、これからも小中が連携して話し合いを続けていきます。



道徳教育部会 「教科化に向けて」

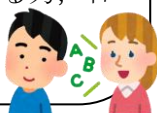
今年度から道徳部会を立ち上げました。以前から議論されていた道徳の教科化が小学校では平成30年度から、中学校は平成31年度から実施となる中、小中各校の目標の共有、道徳の評価の取組などを中心に今後議論を進める予定です。



英語教育部会 「英語をより身近なものに…」

現在、小学校で行われている外国語活動が、平成32年度から「英語科」として教科化されます。

それに合わせて、中・小の教員が協力して、児童生徒の英語力を高める取組を行っています。中学校教員が小学校の外国語活動をサポートしたり、共に授業を研究したり…。中学校を卒業するときには、英語で外国の方とコミュニケーションをとる力、日常生活レベルの情報の読み書きができる力が身につけていることを目指しています。



生活向上部会 「学び」と「育ち」の土台を築く

生活向上部会では、小中における生徒指導上の諸問題を共通理解し、一貫した指導体制を築くことにより、豊かな人間性を高め、「学び」と「育ち」の土台をしっかりと築きたいと考えています。ポスター掲示により取組を周知し、小中合同の「あいさつ運動」や「清掃活動」などの活動を通して、夢をもち、たくましく生き抜き、他者との関わりを大切にし、正しく判断・行動する力を身に付けてくれることを目指しています。



これからよんきゅう絆だより、今回を含めて年3回、あと冬休み前、春休み前に発行予定です。次回は、各中学校ブロックでの様子もお知らせする予定です。



よんきゅう絆プロジェクト 小中一貫教育目標

未来を拓き しなやかに生きる子どもの育成

京都市学校教育の重点
めざす子ども像

「伝統と文化を受け継ぎ、次代と
自らの未来を切り拓く子ども」

- 1 授業を通して自ら進んで学ぶ力を培う
- 2 家庭での自学自習の習慣
- 3 自他を大切にする態度の育成
- 4 「公共の精神」に基づく態度の育成

めざす子ども像

- 1 人を大切にする
- 2 あいさつをする
- 3 進んで学習する
- 4 自分の考えを表現する
- 5 からだを大切にする
- 6 地域を愛する

【児童生徒と地域の実態】

- 児童・生徒の様子
 - ・全体的に落ち着いている
 - ・自ら挨拶する姿勢が弱い
 - ・規範意識の低い場面がある
- 複雑な通学区
 - ・地域の教育力は比較的高い
 - ・一つの小学校から数校の中学校へ入学
 - ・異なる行政区の小学校から中学校に入学

【学校教育目標】

- 北 野 中・・・自他を大切にし、心豊かな未来を拓く力を育てる
 朱 雀 中・・・確かな学力を身につけるとともに、自らを律する生徒を育てる
 中 京 中・・・豊かな心を持ち、自ら学び、地域社会に貢献する生徒を育む
 西ノ京中・・・心豊かにたくましく生きる力を育成する
 大將軍小・・・未来を拓き しなやかに生きる子どもの育成
 ～心身ともに豊かでたくましく、共に高まり合う子ども～
 仁 和 小・・・進んで学び、生き生きとたくましく、共に生きる子の育成
 洛 中 小・・・夢に向かって挑戦し、粘り強く頑張る子の育成
 朱 一 小・・・夢をもち いのち輝く朱一の子 ～主体性 自律心 共生～
 朱 二 小・・・心豊かで、しなやかに生きる朱二の子
 朱 四 小・・・愛する心を育み、未来を生き抜く力を育てる
 ～相手を尊重し、協働的に問題を解決する子どもの育成～
 朱 六 小・・・共に学び自らを創り出す朱六の子ども ～笑顔が集まる学校～
 朱 七 小・・・自分のよさを磨き、一人一人が 光り輝く子どもの育成
 ～自己を見つめ、なりたい自分の実現をめざして～
 朱 八 小・・・よく考え、心豊かに、たくましく生きる朱八の子

教職員連携

- ・小中学校の教職員間の協働的な活動の推進
- ・教職員小中合同研修会の実施

学力向上

- ・9年間の系統性を確保した教育課程の編成
- ・学びの約束(学習規律)の確立
- ・家庭学習の充実

生活向上

- ・「自立の3要素」「生活規律」の9年間の指標の確立
- ・児童会・生徒会の協働活動推進
- ・生活向上標語の作成
- ・あいさつ運動の推進
- ・部活動体験の実施

英語教育

- ・中学校教員と小6学級担任による授業実践と授業研究（教材の開発含む）
- ・小学校英語教育教科化に向けての研究推進

人権教育の推進

- ・「人権という普遍的文化」の担い手の育成
- ・学校としての組織的取組の推進

道徳教育の推進

- ・自尊感情を育てるための道徳教育の推進
- ・規範意識を高める道徳教育の推進
- ・人間関係形成・社会形成能力の育成

家庭・地域との連携

- ・小中合同のPTA活動の実施
- ・学校運営協議会の実施
- ・地域生徒指導連絡協議会の実施

協働的な職員体制・高い同僚性・風通しの良い職場